

APA-10F 取扱説明書

Rev. 1.1

1. 概要

APA-10F は、AWG-50 及び AWP-100 の出力電圧 (-1V~+1V) を最大±10V まで増幅する
ポストアンプ基板です。

入力に対する出力電圧の比 (増幅度) は基板上のジャンパ設定により、x5 倍または
x10 倍が選択できます。

2. 入力 (J1)

AWG-50 又は AWP-100 のアナログ出力を BNC ケーブル (50Ω) で J1 に接続します。
AWG-50/100 における終端抵抗は基板内に備えているので必要ありません。

(注: AWP-10K2 は出力負荷オーバーの為、接続できません)

3. 出力 (J3)

増幅された出力信号は J3 (BNC コネクタ) から出力されます。この負荷抵抗値 (次段
接続機器の入力インピーダンス) は 1KΩ 以上として下さい。また、出力には直列に
51Ω の抵抗が挿入されている為、最大負荷電流 (10mA) 時には出力電圧が計算値の約
5%低下しますので注意して下さい。

4. 増幅度の設定 (JP1 及び JP2)

基板上のショートするジャンパピンを選択することにより増幅度を設定します。

JP1 の場合: X10 倍

JP2 の場合: x5 倍 になります。

設定は電源断時に行ってください。双方オープン、双方ショートは禁止です。

5. 電源 (J4)

DC5V/500mA 以上の電源を J4 に接続します。付属の AC アダプタを使用して下さい。

6. 仕様

項目	仕様
動作入力電圧範囲	-1.0V~+1.0V
許容入力電圧範囲	-2.0V~+2.0V
入力インピーダンス	50Ω (AWG-50/100 終端抵抗)
最大出力振幅	-10.0V~+10.0V
最大出力電流	±10mA
残留オフセット電圧	±10mV 以内
出力抵抗	51Ω (直列)
増幅度設定	X10 倍 及び x5 倍 (ジャンパ設定)
入出力電圧比誤差	±5%以内
動作周波数帯域	X10 倍時 DC~5MHz (20Vp-p) X5 倍時 DC~8MHz (10Vp-p)
電源電圧・電流容量	DC5.0V±5% / 500mA 以上
外形寸法 (mm)	100(W)x80(D)x20(H) (突起除く)
取付穴寸法 (mm)	90x70 φ3.5x4 ケ
動作温湿度範囲	5°C~45°C / 80%RH 以下 (結露無)
その他	

7. 付属品

DC5V AC アダプタ 1 個